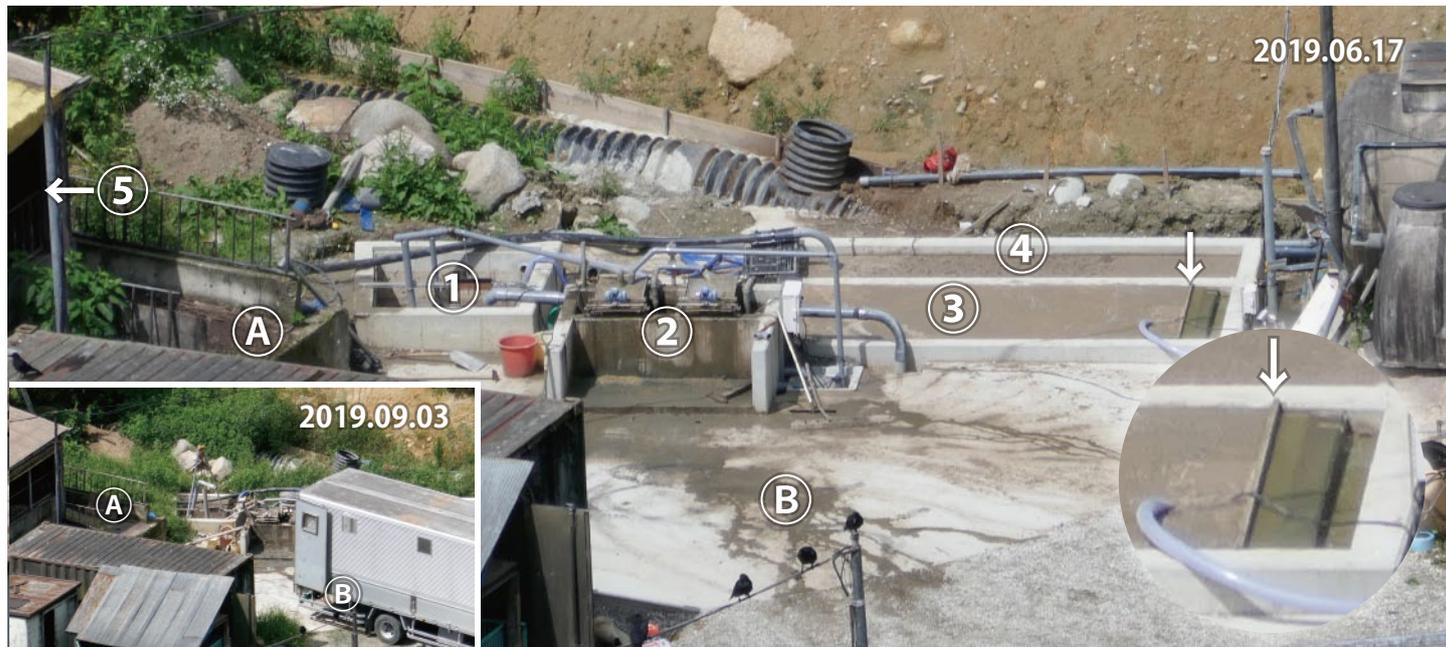
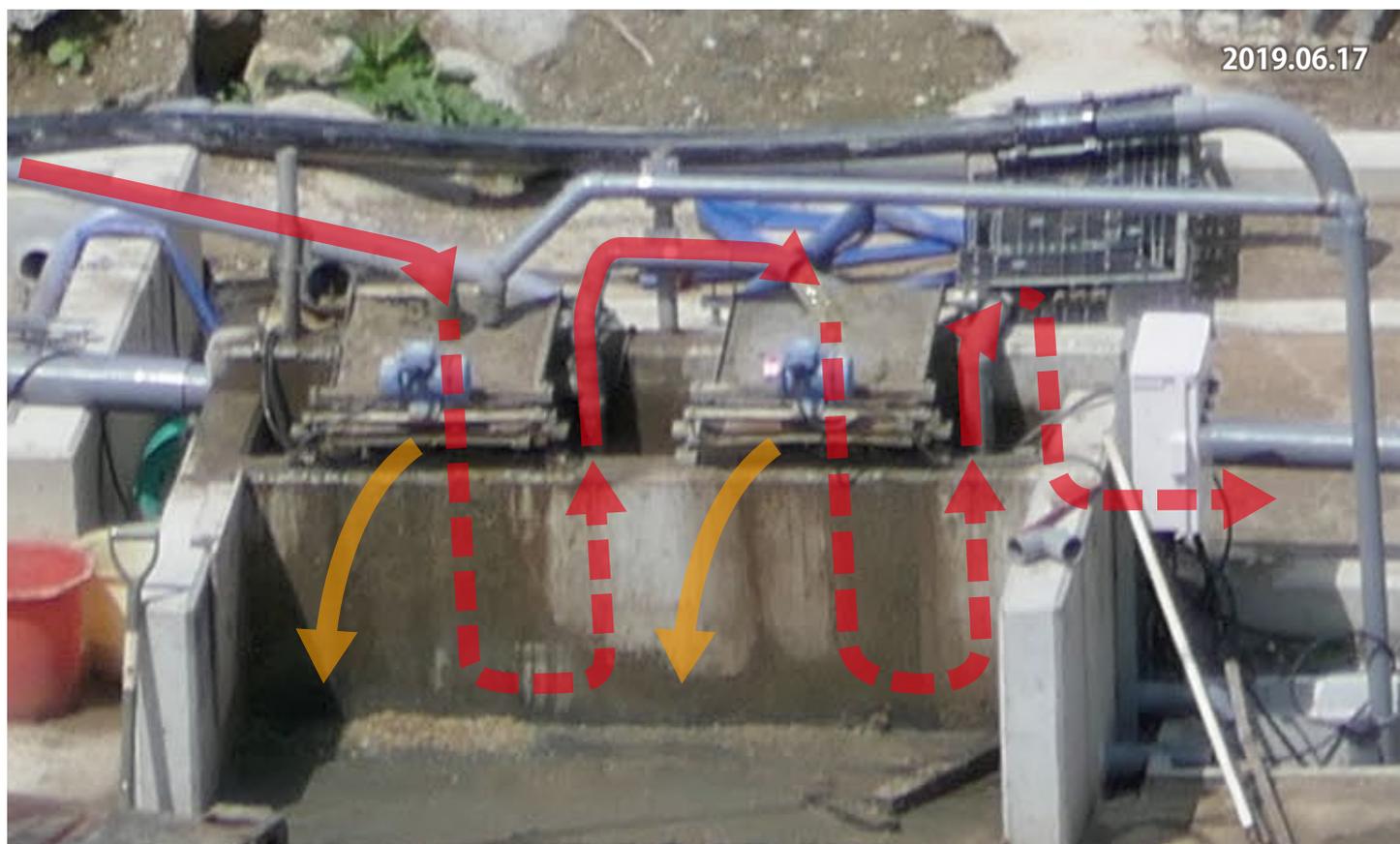


村田養豚場の新しい排水設備



2019年5月に村田養豚場が新しく設置した排水設備は、外部から観察する限り、概ね次のような機能があるとみられる。まず豚舎北西端の地下に集められた汚水が縦穴①からポンプで地上に汲み上げられ、二台の振動篩(②)を通る。この時、汚水中の固形分がコンクリート台の外側へふるい落とされる。次に汚水は浅い槽③を流れ、槽に渡された板(↓印)によって、表層の油分や浮遊物がせき止められ、下層の液体成分のみが次の貯留槽④へと流れる。貯留槽④に溜められた汚水は、豚舎北西端にある、地下の污水管に繋がる縦穴⑤へ戻される。このように①から⑤を何度も循環することで、汚水中の固形分を取り除くのが、この排水設備の主な機能と思われる。これは固液分離装置あるいは尿分離装置と言われるもので、曝気槽は作られていないように見える。

なお、西側豚舎から突き出ている柵のついた通路(A)は、豚の搬出入口とみられる。したがって、豚を搬出入する際には、ここに豚の運搬トラックが後ろづけされることになる。しかしながら、運搬トラックが停車する位置(B)には、コンクリート台の外へふるい落とされた固形分から液体成分がしみ出し、コンクリート敷の上に広がっている。村田養豚場の新しい排水設備は、運搬トラックが豚の排泄物と容易に接触し得る構造と配置となっており、病原体を拡散させるリスクが高いと言える。



汚水は二回振動篩を通過する。作りが粗雑で、完成後も配管が変更されており、継続して機能するのか不安を抱かせる。

未来の日本・未来の地球に。。
子供たちにきれいな水を残したい

有限会社 アシスト工業

[HOME](#) | [浄化槽維持管理・保守点検](#) | [畜産排水污水处理施設](#) | [浄化槽設計・施工](#) | [土壌脱臭装置](#) | [振動篩](#)
[水周りリフォーム](#) | [火山岩・火山礫・火山灰土](#) | [自動車部品リフォーム](#) | [会社概要・お問い合わせ](#)

振動篩

Assist

用途 小規模な固液分離及び簡易脱水
排水処理施設前処理、凝集汚泥簡易分離脱水 等
小規模な粒径選別 10 μ ~ 30mm

村田養豚場に設置されている振動篩とよく似ている。おそらくこれと似たものが設置されていると思われる。



固液分離タイプBTtype

(排出部 ホッパータイプ)
材質 ステンレス
主に畜産排水処理施設前処理に使用されています。
外寸 W1.2xL1.5xH1.2
網目 0.1~30mm
モーター 0.14~0.25KW



篩本体ベースタイプ

使用目的により材質や流入部 排出部、モーター、網等部品を組み合わせ制作します。
外寸 W1.0xL1.5xH0.7
網目 10 μ ~10mm
モーター 0.1~2.5kw



2段式振動篩

異なるメッシュの網をセットでき作業効率を向上します。
外寸 W1.3xL1.8xH1.4
網目 0.1~30mm
モーター 0.1~2.5kw



設置例：某養豚場 BTタイプ2基設置